

# 機友

発行：東京農工大学機友会

2013年10月7日 第24号

## 目次

巻頭言	本学の近況 リニューアルオープン1周年を迎えた 東京農工大学科学博物館	篠原 俊二郎.....(2)
専攻便り	平成25年度就職活動現況報告	梅田 倫弘.....(3)
新任スタッフ紹介	.....	長岐 滋, 笹原 弘之..(5)
	.....	山中 晃徳.....(6)
	.....	田川 義之.....(6)
	.....	桑原 大介.....(7)
	.....	守 裕也.....(8)
	.....	加藤 教之.....(8)
	.....	田口 敦清.....(9)
	.....	堤 成可.....(10)
	.....	山崎 彬人.....(10)
	.....	米 大海.....(11)
	.....	榎木 光治.....(11)
学生便り	TUAT Formula 活動報告	青木 駿悟.....(12)
	ロボット研究会 RUR 活動報告	山本 奈都美.....(12)
	航空研究会活動報告	古川 武留.....(13)
	チームエネラボ活動報告	仙田 知也.....(13)
表彰事業報告	成績優秀者の表彰・優秀講演者の表彰	.....(14)
会費納入のお願い		.....(15)

### 2013年度機友会総会（代議員会）のご案内

開催日： 2013年11月9日（土）14:00-15:00

会 場： 東京農工大学小金井キャンパス 6号館5階501会議室

当日の会場は9号館にて行います。また、当日は学園祭期間中です。総会終了後には、昨年度にリニューアルした科学博物館の見学を行うことも検討しています。

## 【巻頭言】

# 本学の近況

平成25年度 機械システム工学専攻長・学科長 篠原 俊二郎

本学に異動し早2年半にして、部門長・専攻長・学科長を仰せつかり、多い時は諸々で日に100通にも及ぶ電子メールとの戦いを日夜続けております。ここ数年間でも、全国的に大学を取り巻く環境は激変し、大変な逆風の中で種々の研究・教育・諸事務に先生方が追われています。今後皆様の元気が出るような政策や自助努力が望まれます。

また一時的には涼しい時がありましたが、今年も夏が長く厳しい日々が続くようで（執筆時点）、厳冬期と同様に節電が全学的に必要な状況です。

## 1. 大学の近況

上述のように、大学の環境は激変しつつあります。予算削減と事務量の増加のため、研究活動に支障が顕在化しております。例えば本学では論文数等の伸び悩みという研究活動力低下の問題が懸念され始めています。一方、Times Higher Education が調査した本年のランキングでは、日本で総合19位、研究で14位と健闘し、更に上位に進めるよう「研究大学」を標榜しながら頑張っております。同時に本学の認知度を高める広報活動も活発に進められています。

競争原理の関連で、教員評価のために過去6年間の研究諸活動に対する教員資格再審査は本年度に試行され、来年度からいよいよ本格的な施行となります。

大学入試では、募集人員に対する志願者数の倍率は堅調で、入試難易度も少しずつですが上がってきているようです。現在、推薦入試方法についても活発な議論が行われています。

小金井キャンパスも段々と変わってきています。旧繊維博物館は科学博物館（写真）と名称変更し、昨年10月から改装オープンし興味深い展示が見られます。今年度は体育館と総合会館が増築・改修予定です。

自転車乗り入れ規制もステップ的にスタートし、自転車群の乱雑さが減っており、キャンパス整備が進みつつあります。

## 2. 退職、新任教職員の紹介

この一年間は異動が多い年でした（以下お名前は50音順）。

昨年度末には長年に亘り教育・研究・諸活動にご尽力されました新井紀夫教授、堤正臣教授（この4月から本学の理事・副学



長）山形邦夫教授の先生方が退職されました。長年のご貢献に心から感謝致します。高橋俊助教（現東海大学講師）、姜志恒特任助教、林助教（現東京理科大学講師）も退職され、新たにご活躍中です。

昨夏から新任として来られましたのは以下の先生方です：昨年9月に桑原大介助教、10月に山中晃徳テニュアトラック准教授、12月に守裕也特任助教、本年1月に田川義之テニュアトラック准教授、新年度に入って4月は加藤紀之特任助教、田口敦清特任助教、堤成可特任助教、松倉悠特任助教、山崎彬人特任助教、5月は米大海特任助教、7月は榎木光次特任助教。

このように若い方々が増え、フレッシュで活気に溢れており、今後本学の発展に大きく寄与して欲しいと思っています。

## 3. 就職、進学状況

本号の「専攻便り」にありますように、機械システム工学科/専攻の就職状況も堅調です。一昨年は「週刊ダイヤモンド 就職に強い大学ランキング」で、8位にランクされています。学部卒業生の大学院進学率が増え、現在8割程度となってきて喜ばしい反面、今後大学院博士前期課程の定員増の検討や他大学院へのより多い受験者数も課題となりつつあります。

博士後期課程の学生数は現在大体充足しておりますが、より高度な専門的な科学技術研鑽の場として、修士学生・社会人・留学生等に開かれておりますので、是非活用して戴きたいと思っております。お気軽に専攻や関連教員にご連絡を宜しくお願い致します。

## 4. おわりに

11月9日（土）には、例年通り機友会代議員会と科学技術展も含めました見学会を開催されますので、皆様お誘い合わせの上、多くの方がお越し下さりましたら幸いです。

（工学府機械システム工学専攻 教授）

